

5段階の警戒レベルと防災気象情報

気象状況	気象庁等の情報		市町村の対応	住民がとるべき行動	警戒レベル	
災害の切迫・発生	キキクル 災害切迫	河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮 レベル5 特別警報 (警戒レベル5相当情報)	市町村は、 防災気象情報などを 参考に避難情報を 発令	緊急安全確保 ※必ず発令される 情報ではない	命の危険 直ちに安全確保！ ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	5
2時間～0時間程度前	危険	レベル4 危険警報 (警戒レベル4相当情報)		＜警戒レベル4までに必ず避難！＞		
数時間～3時間程度前	警戒	レベル3 警報 (警戒レベル3相当情報)		避難指示 第4次防災体制 (災害対策本部設置)	危険な場所から全員避難 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	4
半日～数時間前	注意	レベル2 注意報 (警戒レベル2)		高齢者等避難 第3次防災体制 (避難指示の発令を判断できる体制)	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	3
数日～約1日前		早期注意情報 (警戒レベル1)		第2次防災体制 (高齢者等避難の発令を判断できる体制) 第1次防災体制 (連絡要員を配置)	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	2
			・心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認	災害への心構えを高める	1	